



We Serve

The International Association Of Lions Clubs

10・11・12

No.2

2012. 第80巻

平成24年11月30日発行

四国

ライオンズクラブ国際協会
336-A地区 地区誌



具定展望台より〈愛媛県四国中央市〉

「心ひとつ」相手の立場でウイサーブ



ライオンズクラブ国際協会336-A地区
地区ガバナー 長谷川 憲男

皆さんこんにちは、ライオンズクラブ国際協会336-A地区の皆様方の御支援と御厚情を賜り、去る6月26日韓国・釜山における第95回国際大会の最終日、地区ガバナーに就任以来、早くも約3ヶ月半が経過致しました。

その間、次期地区役員・委員研修会、次期クラブ三役オリエンテーションを終え、第1回地区名誉顧問会議、第1回ガバナーチーム会議、第1回地区キャビネット会議、更に336-A地区内9リジョンへの地区ガバナー公式訪問と順調に経過し、その間、各クラブ会長様より目標や抱負を御聞かせ戴き、各クラブの実情を良く理解する事が出来ました。これ一重に、武久一郎国際理事様、地区名誉顧問の皆様方、地区役員・委員、各クラブ役員並びに会員の皆様方の「友愛と相互理解の精神」の賜であると、心より厚く御礼を申し上げます。今後は、地区内各クラブの周年記念式典に参加させて頂き、親しくライオンズクラブや人生について御話しさせて頂きたいと思っております。

本年度地区運営基本方針の最重点目標の一つであります会員増強と維持の為の強力な手段、方法としての200%例会、並びに今迄余り御縁のなかった、はじめてのクラブとの交流や合同例会は、深く浸透し成果を上げつつあります。心より御礼を申し上げますと共に、更に強力を押し進めて戴きたいと存じます。その為にも、私が当初掲げました所信の中の「人生の修業」の項を今一度読み返して戴きたいと存じます。

ライオンズクラブは人生の修業の場であり、ライオンズクラブの役職は



人生の師であると信じます。ライオンズクラブに入会し、奉仕活動を行う内に、まず我慢と忍耐の大切さを知る事になります。その後、今回の様にクラブや地区の役職を務め上げられました暁には、必ずや皆様方の人生に大きな一齣を積み重ねる事になろうと確信致します。

皆様方は、多分御自身の企業や社会的各種団体等の幹部やリーダーを務められて居られるものと想像致しますが、それ等を成功に導く事は、並大抵ではないと思われれます。その為にもライオンズクラブの要職を人生の修業の場であり、人生の師であると御考え戴き、努力を積み重ねて戴きたいと存じます。そうする事が必ずや皆様方の将来の人生に大輪の花を咲かせるものと確信致しております。

唯一度の人生であり唯一度のライオンの役職であります。この一年、思う存分御活躍されます様心より御祈り致しております。そして来年の今頃、この一年間を振り返って、皆様方にとって良かったと言える一年であれば、それは私にとってもまた良かったと言える一年である筈でございます。御互いに努力を積み重ねようではありませんか。引き続き御厚情の程御願ひ申し上げます。

INDEX

- 表紙2 地区ガバナーあいさつ
- 2 地区ガバナー公式訪問
- 6 キャビネット会議開催
- 7 第51回 福岡OSEALフォーラム
- 8 YEサマーキャンプ
- 14 日韓ショートステイ
- 16 あなたの愛をパレード
- 17 ライオンズクエスト
- 22 特集・会員増強・維持
- 27 202回のMJF!
- 28 地区会員現況
- 表紙3 物故会員・編集後記
- 表紙4 地区年次大会のご案内





地区ガバナー公式訪問

地区ガバナー公式訪問を終えて

地区ガバナーの公式訪問は、地区運営の基本方針の説明をする事が第一の目的である。しかも、直接地区ガバナーから伝える形をとるところに特別の意味がある。今期は、八月四日の七リジョンからはじまり、最終は九月二十三日の三リジョンまでリジョン単位での公式訪問であった。

1 REGION

1R-RC 横内 通夫

◆日時 8月25日(土) 午後2時より

◆場所 松山市 国際ホテル



開会5分前(13:55) 1R-RC 横内の先導により長谷川地区ガバナー入場、宮内名誉顧問始め、役員、委員、各クラブ、会長、役員、105名が起立、拍手でお迎えをし、所定の席に着かれた。壽野1ZCの司会が進められ、開会宣言及びゴングの後、各役員、委員の紹介を須山2ZC、各クラブ紹介を荻山3ZCが行ない、横内1R-RCが歓迎の挨拶を、日頃のご高配に感謝し今日のご指導を楽しみに、1R-105名全員歓迎致しておりますと述べ、続いて宮内名誉顧問から、6月の国際大会で地区ガバナーに任命され以後様々な所で立派に務められ頑張っておられると激励の言葉があった。

長谷川地区ガバナーからは挨拶並びに要望等があり、第95回国際大会で5日間の地区ガバナーエレクトセミナーを受け、6月26日の最終日地区ガバナー就任式でウェインAマデン国際会長より任命をされ、又国際会長とのツーショットの写真を撮る大変さ等話され、またガバナー・スローガン「心ひとつ」相手の立場でWe Serve、ガバナー・キーワード「誠心誠意」、所信、ライオンズクラブ国際協会の誕生、奉仕と友愛、人生修業、最後に、運基本方針を、自身の言葉で力強く、事細かく述べられた。

引き続き、松前第一副地区ガバナー、市内第二副地区ガバナー、濱田キャビネット幹事、森下キャビネット会計各位より挨拶。佐野委員長、北川委員長より報告事項。1R各委員よりのクラブへの要望、各クラブ会長より今年度の目標、抱負、諮問事項の回答等に沿って現在の問題点、課題、方向性等詳細に報告。長谷川地区ガバナーの要望、方針に対して共鳴、共賛する声も多々あり、質疑等もなく有意義な時間を過ごし、時間内で終わることができました。

続いて記念撮影、懇親会と入りましたが、各担当の委員、役員は役割を十二分に発揮して頂き盛会裏に終わることが出来、皆様にご感謝いたしております。

最後に、今回の地区ガバナー公式訪問において1Rの参加メンバーから、長谷川地区ガバナーは、お若い、お元気と言う声が多く聞こえました。まさに地区ガバナーのお人柄、ライオンズに懸けられている思い、「私の進むべき道は、唯一ライオンズクラブ国際協会に向かっております。」の言葉のように、ライオンズクラブが青春と感じました。更なる地区ガバナーのご指導をお願い致しますと共に、今後のご活躍を期待申し上げます。

2 REGION

2R-RC 今村 隆昭

◆日時 8月26日(日) 午前9時より

◆場所 四国中央市 ホテルグランフォーレ



地区ガバナー長谷川憲男様はじめキャビネットより13名のご来席を頂き定刻に開会する事が出来ました。

地区ガバナーよりスローガン、キーワード、運営基本方針等について、又、参加会員一同には会員増強、奉仕活動等への取組についての重要性の御説明いただきました。

その後、第一、第二副地区ガバナーより所信説明、各委員長より諸活動に対する取組等の説明を頂きました。要望、質疑応答もほとんどなく、各地区委員より2R内各クラブに対しての報告、要望事項。

最後に各クラブ会長に今期目標・抱負を発表頂き、時間(3時間)一杯充実した会議を終了いたしました。

今回、出席者紹介におきまして、キャビネット関係、地区役員・委員のみの紹介とし、各クラブ出席者の方は失礼ながら、クラブ名のみのお紹介とさせて頂きました。これにより20分程の短縮が出来ました。又、午前中の開催で懇親会もなく、簡単な昼食(弁当、お茶、会場費)のみの登録料と致しました。

ただ、各地区委員、クラブ会長の発言時間が足りなかったのではと反省致しております。後日、各クラブ例会訪問時にプラン

チフォーラムについての質問を多数頂きましたが、クラブより委員の選考だけを依頼いたしております。詳細等宜しく御願致します。



地区誌の写真説明風景



地区ガバナーによるバナー紹介



会長報告



公式訪問会場



3 REGION

3 R I R C 程内 哲雄

- ◆日時 9月23日(日) 午後1時より
- ◆場所 宇和島市 ケアホテル クリスタルガーデン



9月23日、336-A地区最後の地区ガバナー公式訪問が無事終了した。

当日は十一時ごろ地区ガバナーが会場到着となり、レストランで昼食をとって頂いている間に会場の設営を終えて、十三時開始となった。

開会宣言、国歌斉唱、役員紹介、クラブ紹介、3RCの歓迎の挨拶と、2ZC木網ライオンの司会により予定通り進んでいった。

地区ガバナーの挨拶の中で世界のライオンズクラブはたどって戻れば、最初のクラブに戻るとう話に興味を持った。なるほどスポンサーをたどって戻れば我々のクラブも日本で初めて結成されたクラブにたどりつくのだ。世界中のクラブは繋がっているわけだと納得。

二百%例会は会員増強を最終目的とするが、まず、知人、友人にライオンズクラブを知ってもらおう事が大切であり、これから二月まで各クラブの現状を把握して行きたいと思えます。記念品贈呈、ガバナー要望事項、地区委員、委員長からの要望を聞き、各クラブの目標と抱負では会長の話に地区ガバナーはうなずきながら聞いておられました。特別参加頂いた溝淵ライオンの一九一回にもなるメルビンジョーズフェローの話には会場全体が驚いていました。まだまだ四半期が過

ぎたばかりですが、残り8カ月、地区ガバナーの方針を踏まえ、ZC、地区委員と協力しながら3リジョンの各クラブを支えて行きたいと思えます。



4 REGION

4 R I R C 正木 一志

- ◆日時 9月1日(土) 午後1時半より
- ◆場所 高松市 高松国際ホテル



2012年9月1日(土) 晴れ、最高気温29℃、天候にも恵まれ13:30より高松国際ホテル「讃岐の間」にて、4R22クラブの会員108名、地区役員・委員10名、高知キャビネットから長谷川憲男地区ガバナーをはじめ13名の参加の下、地区ガバナー公式訪問を開催しました。

長谷川地区ガバナーから本年度の基本方針説明、ガバナー研修会時のお話など示唆にとんだお話を伺うことができ、22クラブを代表してお礼申し上げます。また、濱田利男幹事からも高知キャビネットの考え方等細部にわたつての説明があり、各クラブ役員もご理解をいただいたものと思えます。

公式訪問の最後に各クラブ会長より、今年度の目標と抱負の発表があり、長谷川地区ガバナーも真剣にお一人お一人の発表を聞かれました。クラブ会長にとつても有意義な時間を共有できたものと思えます。

公式訪問は、予定時間より30分ほど早く終了して、17:30頃より同じ会場にて「長谷川地区ガバナーを囲む会」を開催しましたところ、104名の出席があり、和やかな雰囲気の中にも、公式訪問では言えなかった意見も出ていたようで、大変盛り上がり、主催者としてうれしく思いました。

最後になりましたが、長谷川地区ガバナーには健康に留意され、今後も4R各クラブのご指導をよろしく願います。



5 REGION

5R-RC 会場 正行

◆日時 9月2日(日) 午後2時より
◆場所 宇多津町 ホテルサンルート瀬戸大橋



2012年9月2日(日)長谷川憲男ガバナーを始め、山地章靖地区名誉顧問他、総勢13名の公式訪問が開催されました。5R-RCとして歓迎の挨拶を申し上げ、さらに山地地区名誉顧問に歓迎の挨拶を頂きました。山地顧問は昨年より、複合地区のGMTコーディネーターとして会員増強に努められておられます。

長谷川地区ガバナーから、本年度基本方針のなかで、336-A地区を日本一の会員数を有する準地区にするという目標が掲げられました。その中で、会員増強として200%例会を達成して頂きたい、お声をかけて頂ければ万難を排してかけつけます、とのことでした。それに関して、来年9月14日から2日間の予定で高松ランチフォーラムが開かれます。それが新クラブの誕生となればと考える次第であります。

次に本年度、特別にお願いしたい事は発展途上国の子供達に蔓延している「はしか」の予防です。撲滅キャンペーンへのご協力をお願いする次第であります。その内容は1000万ドルを集めようというキャンペーンです。特別寄付金として各クラブ1人当たり2ドルを寄付時「はしか」と明記して頂ければ、達成時

LCIF財団より500万ドルがおおりるという事です。

さて、第95回国際大会が6月25日釜山で開かれた折、336-A地区361名の登録のうち、5Rの会員は74名の多数の参加をして頂き、有り難う御座いました。その中で336-A地区から武久一郎国際理事を選出できました事は、私たちの大きな誇りとなりました。

最後にキャビネットの皆様が大役を立派に勤め上げられます事を御祈念申し上げます。



6 REGION

6R-RC 細木 鷹子

◆日時 8月5日(日) 午後1時40分より
◆場所 高知市 ホテル日航高知旭ロイヤル



5分前に全員が着席し1ZCより注意事項等のアナウンスの後、RCの先導で長谷川地区ガバナーと遠路遙々お越し頂いた松前第一副地区ガバナー・木内第二副地区ガバナーに続き濱田幹事、森下会計が拍手に迎えられて入場。会場が心一つになった瞬間でした。会が始まる間際に急遽参加頂けた役員さんには、ホテルが素早く名前を用意して下さい、担当者に感謝すると共に出席戴けて嬉しいハプニングでした。

会場にはクラブ旗を結成順に並べさせて戴きライオンズクラブの歴史の重みを改めて感じました。式次第のここまですが30分と言う時間に追われましたが、式次第には無かった第二副地区ガバナーにもご挨拶を頂く事が出来ました。

クラブとの質疑応答は無く、濱田キャビネット幹事が諮問事項を上手にまとめられ、後の17クラブの会長の目標や抱負の発表時間に余裕が出来、忙しくなく、ゆつくり拝聴する事が出来ましたし、例会方式での地区ガバナーの要請に添えたと感じています。今期のクラブ運営にも弾みがついたように思います。ガバナー方針でもある合同例会の打診もあつたよう有意義な訪問となりました。

た。反省点は多々ありましたが和やかな内に終了する事が出来ました。早朝よりゾーンレベル会員委員会、ガバナー諮問委員会と会議が続きましたが、皆様お疲れの様子も無く、笑顔でお送り出来ました事に心から感謝申し上げます。





7 REGION

7 R I R C 三宅 芳明

- ◆日時 8月4日(土) 午後1時半より
- ◆場所 高知プリンスホテル



336-A地区7Rの地区ガバナー公式訪問が8月4日四国地区でのトップスタートとなった。この地区ガバナー公式訪問の目的は国際会長の方針の伝達と奨励することに併せ、長谷川憲男地区ガバナーの重点運営方針である会員増強(200%例会の実施)・維持(合同例会の開催)及び昨年3月の東日本大震災支援を7Rの全てのライオンズクラブに推進、お願いする大切な行事であります。

この大切な行事がスムーズに進行していく為に、7月27日には7Rの主な役員を集め、綿密な打ち合わせを行うと共に、公式訪問の前日に会場にてプロトコルのチェック並びにリハールも行い、当日に備えました。当日は多少の不安な面も有りましたが、順調に地区ガバナー公式訪問を終えて良かったと安堵致しております。

これもひとえに7R役員・各クラブ会長様をはじめクラブ員の方々、また関係事務局様のご協力があったことだと思えます。心より感謝申し上げます。



8 REGION

8 R I R C 成谷 英巳

- ◆日時 9月8日(土) 午後1時半より
- ◆場所 徳島グランドホテル 借楽園



2012年9月8日(土) 徳島グランドホテル借楽園において8R15クラブが長谷川憲男地区ガバナーの公式訪問を受けました。キャビネットからは、12名の役員の方々が遠路お越しいただきました。8Rからは84名が参加し盛況で有意義な公式訪問を終えることができました。地区ガバナーからはガバナー・スローガン「心ひとつ」相手の立場で We Serve やキーワードの「誠心誠意」及び12項目の運営基本方針について熱意あふれるご説明を頂き充分理解することができました。

また、松前龍宗第一副地区ガバナー・木内千春第二副地区ガバナー・濱田利男キャビネット幹事・森下広和キャビネット会計各位のご説明を始め地区常設委員会委員長様のお話もよく理解できました。いま、8R内の例会訪問中ですが、ガバナー・スローガンやキーワードは勿論、運営基本方針についてはどのクラブでもよく理解され実行していただいておりますが、私たち役員からも挨拶等の中で、必ず話題取り上げて一層のご理解を頂き前向きに取り組んでいただけるよう努力しているところでもあります。いま、全国的にライ

オンズクラブの会員減が大きな課題となっております。その要因には色々な事情等があります。地区ガバナーの運営基本方針を強力に推進することが、会員減に歯止めをかける大きな力になることは間違いないと痛感しました。



9 REGION

9 R I R C 佐藤 元春

◆日時 9月9日(日) 午前9時半より
◆場所 徳島グランドホテル 借楽園



2012年9月9日(日)午前9時30分より徳島市の徳島グランドホテル借楽園において、3361A地区9Rの地区ガバナー公式訪問が開催されました。当日は来賓として武久一郎国際理事をお迎えし、キャビネットより長谷川憲夫地区ガバナーをはじめ12名の皆様、また9リジョン16クラブより80名の出席のもと始まり、武久一郎国際理事の激励の言葉に続き、地区ガバナーの所信並びに運営基本方針の説明がありました。

所信の中で、「心ひとつ」相手の立場でWe Serve」をガバナー・スローガンとし「誠心誠意」をキーワードとする基本理念の発表に続き、「ライオンズクラブの誕生、友愛と奉仕、ライオンズクラブは人生修行の場」について講話がありました。最後に我々ライオンは、常に人格見識の向上とライオンズクラブ活動を行う上に必要な知識や技術の習得に努めなければならぬと結んでいます。

運営基本方針では、地区活性化の為、会員増強の推進を宣言しました。具体策として、200%例会やリジョンを超えた合同例会の実施により会員増強

を図り、準地区日本一を目指すとし、9Rに対し協力の要請がありました。またキャビネット幹事、会計よりキャビネットの運営についての説明、指導を受け、公式訪問を終了しました。

公式訪問は厳粛の中にも和やかな雰囲気で行われ長谷川地区ガバナーの解りやすい講話と、各クラブ会長の前向きな決意表明があり成功裏に終了したと思います。



第1回キャビネット会議開催

2012年7月8日(日)
三翠園(高知)

3361A地区長谷川憲男地区ガバナー新体制による、第1回キャビネット会議が7月8日、13時30分より三翠園で開催されました。

地区内約70名の役員が一同に会しての会議で、長谷川地区ガバナーの挨拶を皮切りに、武久一郎国際理事・地区名誉顧問の挨拶、菅武廣名誉顧問会議長、松前龍宗第1副地区ガバナー、木内千春第2副地区ガバナーの就任挨拶、三谷智省地区名誉顧問の挨拶と続き、長谷川地区ガバナーよりの運営基本方針の確認、14項目の審議事項、11項目の報告事項が慎重かつ熱心に討論され、原案どおり可決されました。

地区誌編集委員長 宇都宮 博史



ASIAN FORUM

『第51回 福岡OSEALフォーラム』
東洋東南アジアフォーラム 開催

11月8日から11日までの4日間、九州福岡市で「第51回福岡OSEALフォーラム」が35年振りに開催され、11か国・17,664人が集った。(公式登録人数) 会場周辺の街路樹は既に紅葉しており、博多湾から吹く風は少し冷たかった。

開会式は主会場・福岡国際会議場に隣接したマリンメッセで行われ、8千平方メートル、一万人の収容能力のある会場は満席となっていた。式は国際理事を初めとする代表者が入場行進、マデン国際会長は日馬富士が先導し、勇壮な和太鼓の演奏から始まり開会宣言、ゴング、国歌演奏、参加国紹介、歌手加藤登紀子の百万本のバラなどの歌唱、九州交響楽団は黒田節を演奏した。

フォーラム組織委員会の不老安正委員長は「セミナーを通じて、私たち自身が社会の奉仕者として成長し、指導力を養うことが肝要」と開会挨拶。

続いて、来賓挨拶で小川洋福岡県知事は2016年福岡で国際大会の開催に期待し、高島総一郎福岡市長は大変流暢な英語による挨拶であった。

マデン国際会長は次のように挨拶した。「奉仕の世界」で常に際立つ名前のある。「ライオンズクラブ国際協会」があるのです。「奉仕」は私たちのモットーで、継続することに存在の意味がありません。私たちは変化の担い手とならなければ

なりません。子供の空腹、識字の問題もあります。RAPで検討ください。会員数の問題は受け身でなく、積極的に対処ください。チームワークを良くして効率よく仕事を進めましょう。

夜はレセプション(日韓)やMD 336の夕べが開かれた。

三日目プログラムはリーダーシップ、ライオンズクエスト、アラートのミニフォーラム、LCIFセミナーなどがあつた。リーダーシップミニフォーラムは100人以上の人が集まり大変な盛況であつた。今日は観光の日ともいわれるが、この様に沢山の人が集まり、このテーマ関心の高さに驚いたと委員長は挨拶した。午前は壇上パネリストによるデイスカッション午後はテーブル毎にリーダーの要件につきデイスカッション後発表した。大方の意見は、求めるリーダー像の一つに山本五十六の名言「やって見せ、言つて聞かせてやらせてみて褒めてやらねば人は動かじ」が多かつた。

レディスプログラムのパネルデイスカッション「女性ライオンの思い」のテーマの中では42名を入会させてクラブを作つた、震災の被災地に28回物資を送るなど女性ならではの力強さ、細かい気配り、遣る時はやる気概を感じた。

国際会長ご夫妻を囲む晩餐会で高知南ライオンズクラブ 溝渕義男さんはL

CI Fに2022回の献金によりマデン会長より表彰された。

地区誌編集委員 高橋



Youth Exchange Summer Camp



7/26(木)~29(日)

ライオンズ国際協会 336-A・B・C地区合同

YE サマーキャンプ

室戸青少年自然の家にて、7月26日~29日に
3泊4日のサマーキャンプを実施しました。



Time Schedule

7月26日

- 12:00 開所式 (三翠園)
長谷川憲男
336-A地区ガバナー挨拶
- 14:00 室戸青少年自然の家移動
- 16:30 オリエンテーション
- 18:00 ゲーム、スポーツ

7月27日

- 9:00 ホエールウォッチング
- 14:00 七宝焼き
- 17:00 ゲーム、スポーツ



7月28日

- 10:00 絵金見学 (香南市)
- 11:30 フルーツ園 (西島園芸団地)
- 17:00 バーベキュー
- 19:00 キャンプファイヤー

7月29日

- 12:00 閉所式 (三翠園)
渡辺雅文
336-B地区ガバナー挨拶





思い出の色紙





ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区
YE・国際関係委員会委員長
橋本 充好



室戸青少年自然の家にて3泊4日（7月26日～29日）のサマーキャンプを実施した。ライオンズクラブ国際協会の国際協調、国際親善、青少年育成の趣旨に則った事業で、参加者は4カ国13人（男性4人・女性9人）の青少年でした。

私も責任者としてこのような段取りをするのは初めてで不安があり、不安を解消するため先に先にと準備を進めプログラム、相手先との交渉、予算の編成を行いました。ただ、プログラムで自分が良かれと思って神社仏閣訪問ツアーを企画していましたが、サマーキャンプ経験者に相談すると日本と違って宗教の問題があり、以前は、門の前で立ち往生したとのことであり、見直しをしたり、子どもたちはホエールウォッチングが好きで外せないとか、フルーツが好きだとかの情報を得、自信ができスムーズに運営することができました。これも知らないから先手先手と情報集めに動いたことが良かったと思っており、合わせて助言を頂いたYE担当の先輩達に感謝いたします。

4日間は晴天（暑さはどうしようもないですが…）に恵まれ風、波も穏やかでホエールウォッチングには最適でありクジラ、イルカ、トビウオ、ウミガメ等が見え海面を食い入るように見ていた女性もおり、太平洋のダイナミックスさを満喫したのではないのでしょうか。そしてフルーツ園、思い出づくりの七宝焼き（しっぽう焼き：銅板に糊を付けガラスの粉末で思い思いのデザインを張り付けし、高温で焼きつける）も好評でした。

最後の夜は焼肉パーティーからのキャンプファイヤーと最高潮となる思い出作りをし、青少年の心が一体となったように思え、また運営したA、B、C地区のYE担当者も感動を覚えたのではないのでしょうか。

最近のYE事業は派遣も受け入れも人数を減らしており、人数を増やすことが大事です。国際感覚を持った青少年を育てることがライオンズクラブ国際協会の目的でもあり、この奉仕活動は時代を超えて脈々と引き継がれ、「生きとし生ける者の心」を残す事業だと確信しており、お手伝い下さったライオンズのメンバーに感謝申し上げ、報告とします。



鯨の種類



ホエールウォッチング



朝の集い



ライオンズクラブ国際協会 336-B地区
YCE・国際関係委員会委員長
河合 俊道



今年度YCE夏期キャンプが336-B地区の主管により、7月26日～29日までの三泊四日の日程で、高知県室戸市「国立室戸青少年の家」を主会場に、綿密な活動計画に基づいて開催されました。

336-B地区からはYE生4名で参加させて頂きましたが、特に今年度は336-C地区からの参加もあって、全参加YE生は13名を数えました。

アメリカ・ヨーロッパ3ヶ国・台湾など多種多様な国々からのYE生たちを、どのように束ねようかと思案しているうちに、バスは目的地の「国立室戸青少年の家」に到着。当初の不安が吹っ飛んだのは夕食後の自由時間のことです。

広場で地区委員が持参のロープを活用して、YE生全員とB地区から特別参加の前年度YE派遣生・中田沙織（高校3年生）さんで、長縄跳びが始まりました。

フィランドから参加のイエンナ（18才の女性）がリーダー役の様子。徐々に難度を上げながら、全員クリアしては盛り上がります。

私たち世話役の地区委員は、階段状の上段からその様子を見守りました。暫くの間縄跳びに興じた後、イエンナの指示で芝生の上に車座になり、ゲームを始めました。ときに大きな歓声に包まれ、ときには罰ゲームで沸き立ちます。

それはお互いの名前を覚えるゲーム

でした。

こうして初日、全員が互いの名前を覚えたYE生たちは、瞬時に打ち解け合い、その後の日程は、全てがスムーズで笑顔の絶えない、とても印象的で貴重な時間の共有となりました。

またそれは、私たち担当者にとっても、思い出に残る感動的で充実したものでありました。

キャンプも終わり、それぞれのステイエリアへの別れ際、泣きながら別れを惜しむYE生たちの姿に、連日の寝不足と悩まされた暑さは何処かへ吹き飛ばしました。

YCEキャンプにおいて、事故もなく無事に終了しなければとの強い思いから、私たちは兎角管理することを心掛けます。が、それは時として、参加YE生たちを知らぬ間に束縛をしている場合があります。

今回のキャンプは、プログラムとしての自由空間のあり方と、YE生の自主性を活かすことが如何に大切かを教えられました。キャンプのあり方の指針として捉え、今後の取り組みの参考にさせて戴きたいと思えます。

素晴らしい企画とセッティング、献身的なお世話を頂きましたA地区橋本委員長さんをはじめ、地区委員の皆様関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。



バーベキュー風景



七宝焼



お!! くじら?



Youth Exchange Summer Camp



ライオンズクラブ国際協会 336-C 地区
YCE・国際関係委員会委員長

岡本 雅司

● 7月26日(木)～29日(日)高知の室戸青少年センター(自然の家)で実施された、336-A地区主催のサマーキャンプには、福永地区ガバナーの強力なリーダーシップのお陰で、4名のC地区来日生全員が参加することができました。アメリカの Gustavo 君と Courtney さん、台湾の葉俊賢君と蘇育黎さんです。

● 高知市内のホテルで弁当を食べた後、12時30分から開所式を行い、A・B・C地区から参加した総勢13名のYCE生全員にC地区のバナーとガバナーピンを渡しました。ガバナーピンのキャラクターが可愛いと女の子から評判でした。13名の国籍は中華民国(台湾)7名(男子3名・女子4名)、アメリカ2名(男女各1名)、フィンランド2名、デンマーク、ベルギー(女の子)です。

● 13時から3時間かけて室戸の「自然の家」までバスで移動しました。途中、山口谷さんがキャンプでの注意事項、今後の予定等を英語でYCE生に説

明してくれました。台湾からの来日生の蘇さんが、まるで別人のようにあか抜けて、綺麗になっているのに驚きました。

● 17時30分からの「夕べのつどい」の後、宇高336複合YCE委員長を中心に、ライオンズ関係みんなが集合写真を撮りました。

● 夕食はバイキングで、「美味しい!」とみんな喜んで食べていました。意外にも和食中心の子が多かったようです。相変わらず食が細いと聞いていた Courtney さんも(洋食でしたが)みんなと同じように食事をしていたので安心しました。

● 19時から広場で子供たちだけでゲームをしました。だんだん打ち解けてきて盛り上がりが出ていくのが、遠巻きに見ていた大人たちにも分かりました。結局、入浴時間の21時まで、真つ暗になっても、あれやこれやゲームをしたり話をしたり、楽しんでいました。大人たちはみんな「若いっていいなあ」と思っていたと思います。今回のキャンプは間違いなく成功すると、私は確信しました。

● 7月27日(金)キャンプ2日目 6時起床。7時15分から正面広場で「朝のつどい」です。国旗を掲揚し、各団体の代表者挨拶の後、全員で「ラジオ体操」をしました。子供たちは最初は戸惑っていましたが、だんだん慣れてきて何とか格好になっていました。





●朝食後はいよいよ楽しみになっていた「ホエールウォッチング」です。台湾組と欧米組に分かれて、それぞれ別の港から沖に出ました。私は台湾組を引率し、9時15分に出港。9時40分にウミガメ発見！速度を落として近寄りましたが、なかなか逃げません。ちよつと弱っているようです。

●再び沖に向かいます。飛魚は時々見られるのですが、クジラのいる気配はありません。10時25分、遠くに何か見えます。黒い背びれがいくつも見えます。泳ぎ方からイルカのような様子。船頭さんはクジラは潮目にいるからと色々場所を変えてくれました。10時40分、ついにクジラ発見。2つか3つの群が泳いでいます。しばらく潜っては海面に姿を見せません。警戒するので、あまり近くには寄れないとのこと。

●欧米組に連絡を取ってみると、まだ何も見えないそうです。ここがクジラの見えるポイントなので、欧米組が来るのを待つことにしました。日差しもだんだん強くなり、船を止めているので暑くて、子供たちが帰りたいと言いだしました。しかしここが我慢のしどころです、仲間が来るまでは帰れません！再度、子供たちに理由を説明し、待つこと30分、やっと欧米組の船が見えました。みんな手を振っています。お立ち台に上がっているのは Courtney さんでしょうか。

●船が再び走り出すと風を切って爽快です。帰りにはサメもマンタも見えま



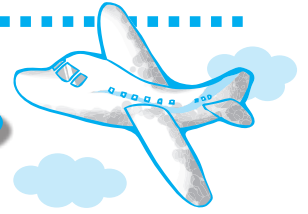
た。台湾組をお世話したのは、前列左から多度津の吉田さん、鳴門の三谷さん、徳島の手塚さん、後が私です。そういえば今朝、蘇さんが手塚さんに教わった本場の阿波踊りを「コレ、私、好きヨ！」とリズムをとりながら披露していました。

●午後の予定を変更し、少し遅い昼食をとりました。みんな良く食べました。Gustavo 君も Courtney さんもチキンナゲットにケチャップをかけ、満足そうに食べていました。Courtney さんの食欲も出て良かった。15時まで休憩です。みんな部屋に帰って寝ていました。私は急用ができたので山口谷さんに後を託し、キャンプ場を発ちま



日韓ショートステイ

2012年8月5日~13日





6月、釜山での第95回ライオンズクラブ国際大会に長谷川憲男地区ガバナー、キャビネット役員と参加し、その後の韓国354-D地区総裁 李奎燮を始め、役員の方々の会談の結果、二度目の「日韓青少年国際交流」が決定、韓国は第11地域副総裁 吳泰錫と高知が担当に就きました。この事業については、2008年に当時の三谷智省地区ガバナーと趙南吉総裁によって「日韓青少年国際交流友好覚書」が交わされている為、話も円滑に進み、前回同様メインは「高知よさこい祭り」となり、日程を決め帰国しました。

今回、留学生はレオ会員5名、ライオンズメンバー・またその親族の子女5名(中学生1名、大学生9名)の10名となり、ホストファミリーを募集後、高知柏LC・高知鏡川LC・高知東LCより計4ファミリーでの受け入れ態勢となりました。

8月5日 緊張の中の彼らとの初対面。高松空港に降り立った彼らのスタイルはピンクのブレザーに濃紺のパンツやスカート、そしてグリーンのネクタイで徹底され、聡明なY.Eの学生との印象でありました。

8月6日 県立牧野植物園や桂浜を観光し、夜は歓迎セレモニーや屋外でのパーティーが行われました。緊張も緩んだのか、やはり若者らしく大いに

盛り上がり弾けました。

8月7日 高知城を巡った後、高知よさこいLC島田瞳さんの指導で、七宝焼きの体験をしました。それぞれの個性が光るブローチにキーホルダーを作成し、その様子は地元紙にも掲載されました。

8月10日 いよいよメインのよさこい祭りです。前回同様、高知りょうまLCの協力とキャビネット副幹事他4名で引率し、元気にスタート！前二日間の厳しい練習では皆、硬い表情だったのが、両日ともに活気に溢れ見事に二日間踊り切り、達成感からか顔は笑顔で満ち輝いていました。

よさこい最終日には、三谷智省地区名誉顧問の計らいで特別席より迫力漲る競演を鑑賞し、高知のよさこい祭りを十分に堪能することができました。

最終イベントのホエールウォッチングは、思惑波があり船酔いが続出、その中でもイルカの大群が船の周りを泳遊する姿は、少しは慰めになったものの、皆口数少なに、これも懐かしい思い出の一つとなるでしょう。

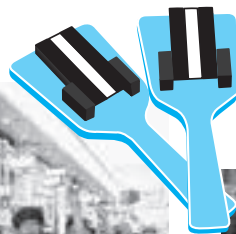
帰国の日 お別れの昼食会では彼らからの挨拶がありました。今回の体験は生涯忘れないでしょう。この言葉に彼らからの感謝の気持ち十分に込められており、例え短い間でもファミリーになれたのではないでしょうか。そして、彼らは今後必ずや日韓

友好の架け橋になる事を約束してくれました。私自身とても感慨深い体験となりました。

今回、橋本充好Y.E・国際関係委員長並びに、通訳の高橋慶さんのご協力誠にありがとうございました。

青少年・LC・F・地域奉仕委員長

北川 渉



「あなたの愛を」パレード

— 回想記 —

高知桜 LC 松崎 淳子



「パレードは、いつ、どうして始めたの？」と、聞かれることがあります。それは17年前のことでした。

1996年、キャビネットは松山4R（現6R）は武内徳雄RC（須崎LC）、8R（現7R）は宮地健三RC（高知黒潮LC）でした。両リジョン合同の新旧役員交替会の席上、宮地8RCが「三献（この頃は、献血・献眼・献腎）の推進対策として、パレードを」と希望されました。医師でもある宮地RCは、献眼事業の草分けで、日本の献眼運動の先駆者勤山氏（沼津LC）とも親交のある方で、風を起こそうと提案されたのです。

一方、この末席にいた私は、ライオン歴3年の保健福祉委員で高知桜LCが初めて受けた4R地区委員でした。8Rの千頭滞久朗委員（高知南LC）もライオン歴4年、2人は初代会長という瓜二つのキャリア。で、私は、武内RCに進言して、4・8合同のアクティビティになるから、8RCの指示で動くことを許してもらって、千頭委員と動き始めたのです。たたき台は

私が作り、2人で宮地RCの意向を伺いに。「えっ！もうやってくれるの？」と励まして頂き、勇気が沸きました。

構想のイメージは——パレードでライオンズを知ってもらおう。

ダラダラ歩く集団ではなく。格調高く。アピールするテーマが、すんなりと伝わって、共感してもらえるように。そして、人道的奉仕団体ライオンズに親近感をもってもらいたい。

繁華街を通り抜けるさわやかな一陣の風のように——

県下全域の参加は無理としても、高知市内クラブ（当時は11クラブ）と、近郊のクラブで試行するとして、少人数ではアピールが弱いから、各クラブにお願いする参加者名簿の欄を20桁にしました。どのクラブも「ヒヤア！20人」だったそうです。でも多数が参加してくださいました。

各クラブは、横4人の隊列を組み、外側の会員が袋に入れた趣旨書やチラシと粗品を道行く人に手渡します。三献のノボリ旗やプラカードを有志が持つて歩きます。「先頭には、アンパンマンの縫いぐるみを」と考えましたが、日本テレビのパテントでは手の届く代物ではないとわかり、県警のプラスチックの協力を得ることができました。それに続く横幕のキャッチフレーズ「あなたの愛を」は、千頭委員の傑作。土佐みやげの老舗「はりまや」の社主千頭さんは、新作菓子の「銘」に苦労した銘づくりの達人だったのです。

さて当日。県庁正面玄関前いっぱい、クラブ別のスペースをとり、旗や配布資料を置いて、そのまま隊列ができるよう準備。こんな作業は、南、桜のクラブ保健福祉委員の健斗のおかげでした。出発式を皮切りに、「あなたの愛を」を先頭に、プラスチックバンドの露払いで帯屋町筋へ。あの頃は、日曜日の帯屋町の人出は多く、笑顔で迎えられる、心の通いを実感する手ごたえがありました。そして、京街・中種から土佐橋まで。

こうして、パレードは恒例行事となっていきました。

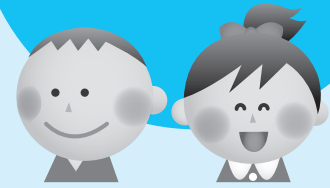
ふりかえりますと、先輩の先見性に導かれて、ライオン歴の若い2人の委員が初体験するなかで、学んだことは大きかったと思います。初顔合わせの姉と弟のごとき2人は、異なる生活歴を生かして、持ち味を出し合い、ライオンズの特徴をさぐりながら、先輩Lの熱情を形にする。その要素こそL・I・O・N・Sの良さだろうと、今更に気づかされるところです。

この後、リジョン名は、6・7となり、パレードの主担当を交代制にされている由。パレードを経験されていない郡部のライオンズだと、戸惑うこともありましようね。

この辺りはRCレベルで調整が必要かと思えます。



LIONS-QUEST



地区内に新たに 二名の説明員が誕生！



LQ説明員 野間さん



LQ説明員 藤村さん



説明員制度の概要

ライオンズクエスト普及活動の一環として、教育関係者や保護者、ライオンズクラブメンバーを対象にライオンズクエストの概要を説明し、模擬授業を体験していただくライオンズクエストセミナー（体験会）があります。説明員制度は、セミナーをライオンズクラブメンバーが実施できるようになっていただき、地域でのセミナーのニーズに地域の説明員が応えられるようにするとともに、ライオンズクラブメンバーがライオンズクエストのアクティビティに積極的に関わる一つの方法としていただくため、2007年にJIYDにて設置した制度です。

■ 説明員になれるのは以下の条件を満たした方です。

- ①ライオンズクラブメンバーで、所属クラブの承認を受けていること。ライオンズクラブメンバーではない場合は、特定のクラブの推薦を受けていること。
- ②ライオンズクエストの2日間のワークショップを修了され、かつライオンズクエスト認定講師またはJIYDスタッフが講師を務めるセミナー（体験会）に参加していること。
- ③JIYDにおいて説明員講習会を受講し、合格すること。

■ 説明員講習会では…

- 説明員になることを希望される方に、あらかじめお送りする台本に従って実際にセミナーのリハーサルをしていただきます。
- 合格された方には、後日JIYDより、認定証、説明員資格契約書、説明員のお名刺をお送りいたします。
- なお講習会に先立ち、履歴書、クラブの承認書類または推薦書類をご提出いただきます。また講習会時に、登録料としてお一人3万円を頂戴いたします。

■ 説明員になられた方には、ご活動にあたって以下のことをお願いしています。

- ①教育関係者向けのセミナーを開催する場合、日程調整や経費精算に関しての手続きはJIYDを通すこと。また、実施後に報告書をご提出いただくこと。
- ②毎期末（6月頃）に、JIYDが実施する1年間の活動実績アンケートに回答いただくこと。



第2回 ライオンズクエスト ワークショップを終えて

8月13・14日
保健福祉センター香北にて

土佐山田 LC LQ 委員長
大橋 明美

昨年夏に引き続き、香美市教育長の旗振りの下、市内、各小、中学校の先生方20名にお集まりいただきました。昨年のWSに参加された先輩、同僚から話を聞いてこられた方も多く、比較的リラックスした雰囲気の中のスタートです。

年齢、経験、地位もばらばらでほぼ初対面の方々ですが、簡単なゲームを混ぜての「グループ分け」「自己紹介」を2、3回繰り返すとあっという間に一つにまとまり、打ち解けていくのが傍から見ても良くわかります。緊張で強ばっていた顔がにこやかな笑顔に変わっていくのです。お世話くださった教育委員会では、このWSに「人間関係づくり研修会」というサブタイトルをつけられています。正にそこ「関係づくり」から始まります。WSの二日間、先生方の集聚力と団結力には圧倒されました。全員の真剣な眼差しと笑顔が印象に残っています。終了が近づくと涙目の方もちらほら。終了後は去年同様、このプログラムはすく使え、解りやすい。受講してよかった。という声をたくさん頂きました。

いじめや不登校、犯罪や薬物依存。家庭での育児放棄、自殺。ニュースを見聞きするたび、あと少しコミュニケーション力があれば...と思います。私共の地域の学校も様々な問題を抱えていると聞き、昨年から始まったWSですが、「この一年で学校運営に随分進歩があった。」という評価を頂いています。地域では開かれた学校を目指し、毎月定日誰でも学校に向き、自由に授業を覗ける日を設

定しているそうです。教育は学校、保護者、地域が共通の問題意識を持って、取り組まねばなりません。私達LCもクエストのプログラムを通じて、貢献することができます。結果を見るには時間がかかりますが、子どもたちが「ライフスキル

(生きる力)を身につけ、健康に、この地域の未来を切りひらいて行くことを願います。このライオンズクエストプログラムを子どもたちに届けたいと思っています。





ライオンズクエスト「思春期のライフスキル教育」プログラム 2012年、坂出フォローアップワークショップを開催して



8月25日
坂出市民ふれあい会館にて

坂出 LC LQ 委員長
河津 學

一、公募型フォローアップ ワークショップとは

(一) 目的 ワークショップ(以下WS)を修了した教員がより良い授業を実施できるようにするためのスキルアップや情報の共有を目的としています。当日の内容は①理論編、ライフスキルの再考、多様な定義など、②授業編、発達段階とライフスキルの授業、発達段階とは何かなど③交流編、学校での実践と課題、教育課程への位置づけなど。

(二) 対象 過去にWS受講修了者で教員・基本的にはライオンズクエストプログラムでの授業を実施している、または今後、授業実施予定の教員を対象としています。従って、ライオンズメンバーや現職教員以外の教育関係者は対象外です。むろん、WSの見学はできません。

(三) 参加者人数 定員最大二十名です。通常のWSと違い最少人数については特に決まりはありません。参加意欲のある教員であれば少人数でも有意義なフォローアップになります。

二、県下初のフォローアップWS開催

八月二十五日(土)、坂出市民ふれあい会館で十二名の参加申し込みで開催しました。当初、定員二十名なので申し込みが多くて困るだろうと予測していましたが、みごとにはずれました。過

去三度の公募型WSを実施しており、昨年度(平成二十三年)WS修了者七名で最も多く、初年度(平成二十年)四名で少ない参加であり、やはり公募型WSを実施した翌年度にはフォローアップWSを実施すべきだと感じました。

今回ご指導して頂いたジャイド認定講師の北山敏和先生は坂出WS三度目であり夏季休業中、一度も帰宅せず全国各地のWS指導に奔走されている超ベテラン講師です。元気の秘訣は日頃鍛えた「鉄人レース」と言われるトライアスロンにあるようでした。最後に受講終了後の岩黒小中学校の宮内宏和校長先生の「今回の講座で教えて頂いた手法を用いて九月三日の全校集会で十一名の全校生が輪になって夏休みの思い出をカードに書いたものを分類しながら発表し合う取り組みを行ってみたい。中略：何と言っても「エネジャイザー」が魅力的な手法であると思います。集会などの様々な機会に「エネジャイザー」のできる校長先生を目指して行きたいと思います。そのことによって先生方にも「ライフスキル」への関心を持って頂ければと考えています。」という報告文で刺激され、今後もライオンズクエストWS続行しなければならなかった次第です。





「鳴門ワークショップ」への熱い思い!

8月21・22日
鳴門中学校にて

鳴門 LC LQ 特別委員会委員長
春木 扶佐子

「本校の全職員にライフスキル教育を体験してもらうには、どうすればよいか?」

昨年の鳴門ワークショップ修了者へのアンケート用紙にこう書かれていました。それから3ヵ月後、アンケートに記入された校長先生(昨年の鳴門ワークショップ修了者)にお会いし、経過をお聞きしました。「先生、その後、いかがでしょうか?」「春木さん、プロگرامが良いことは自分が受けてわかったから、ぜひ、本校の職員に受けてもらいたい!」それならば先生、鳴門中学校でワークショップを開催しましょう!そんな校長先生の熱い思いから始まった今年度の鳴門ワークショップです。

小さな小さな学校です!全職員合わせても16名!できるだけ子どもたちに近い若い先生に受けてもらいたいから私が出張や対外的なことは全部、引き受けるからと言ってくださった教頭先生!そのおかげで多くの先生に参加いただけました。まして校長先生は2度目の参加です。他に市内校長会でお願いしました中学校教諭3名、藍住LCご紹介の小学校教諭2名、そして今回クエスト事業に関心をもっていただき、ライオンズクエスト地区委員として、また説明員として例会に訪問させていただきました高松北LC眞鍋幹事と図子会計の2名、合わせて18名の参加を得てクラブ結成50周年記念アクトとして8月21日(火)・22日(水)鳴門中



学校におきまして第3回「鳴門ワークショップ」を開催いたしました。

国際協会336-A地区・青少年育成支援フォーラム(JIYD)の支援のもと、北山敏和クエスト認定講師をお招きしました。今回の会場となる中学校の視聴覚教室は普段使用されていなくて、まして夏休み中ということで、正直、埃だらけ!机もコンピュー

ターの授業で過去に使用されていた4人でやっと動くような重たい机です!先ず「鳴門ワークショップ」は前日のお掃除から始まりました。男性メンバーが机を移動し、女性メンバーが箒で掃いて雑巾かけをする。掃いて掃いてもごみが出てきて、全員の額からは汗がにじんでいました。でもワークショップをやり多きものとするため、環境作りにも重点を置いているというJIYDの指示通り、良い雰囲気の中で快適に2日間を過ごしていただきたいと言う思いからクラブメンバーは「ワイ・サーブ」の精神を発揮して必死でがんばりました。

当日はあいにく雷と土砂降りの中の開催となりましたが、両日とも北山講師の優しい雰囲気やユーモアで打ち解けた参加者が和気藹々と熱心に楽しく学べた有意義な時間を過ごせたようです。

今回3回目となりました「鳴門ワークショップ」ですが1回目、2回目の反省点が数多くありました。ライオンズクラブは何をすべきか?の問いのようにならぬようにワークショップを受けていただいて終わるのではありません。あくまでもワークショップはプログラム普及の入り口。その後、子どもたちがライフスキルを学んで良い変化があ



らわれることを実際にこの目で見てみたい！先生方から明るい報告を聞いてみたい！そう思い取り組んでいます。

今回の修了者の感想をご紹介します、「ワークショップを体験して先生である前にひとりの人間としての自分を振り返り、新たに学ぶことができた。」「たくさんさんの活動を生徒として受ける中で、プログラムについて生徒目線で考えることができたし、受けることが楽しかった。思春期の子どもに対する関わり方に疑問や不安があったが、2日間のプログラムで学んだことを実践することで自分自身も子どもたちと共にライフスキルを高めていきたいと感じた」「このプログラムを実践することで、生徒がクラスが学校が変わっていくと感じました。」それぞれの感想をお聞きし、とても大きな成果があったと実感しています。

1カ月後、鳴門中学校に経過報告をお聞きしたら、3年生2クラスに実施されたそうですが、まだまだ、反省点がたくさんあるとのこと。これからが本番！私たち鳴門ライオンズクラブも学校を訪問して経過報告、授業実施の問題点などをお聞きしたり、授業参観や新たなワークショップ参加者の支援をしたり、ライオンズクラブとして出来る限りのサポートをしていきたいと思っています。

子ども達と先生の輝く笑顔を見られるその日まで。
最後になりましたが、初日の開講式

には北川ライオンズクエスト地区運営委員長、佐藤9RR C、眞貝9R1Z Z C、井上9R青少年地区委員、山口北島LC会長、三宅国府LC青少年委員長のご出席をいただきました。
今回のワークショップにご協力いただきましたみなさまに心より感謝を申し上げます。

このプログラムには子ども達だけでなく私達大人にも必要なスキルがたくさんあります！

つい、感情に走って怒ってしまいそうになる時：いかん、いかん、感情をコントロールせねば!!ものは考えよう、いろんな意見があるのだから話し合わなくては！

仕事で社員を叱りそうになる時、いいところを見つけて褒めることも必要！褒められることで自信がつき、仕事に意欲がわくなど日々の生活の中で私たちも子ども達と一緒に成長しなければと思います。





高知黒潮ライオンズクラブ 「同日新会員7名の入会式挙行」 素晴らしい第52代 山本哲美会長

高知黒潮LC 幹事 坂東 伸政

最近当クラブをはじめ3361A地区6R・7R共に会員の減少という深刻な問題をかかえ、新会員の増強に各クラブが奔走しているなか、高知黒潮ライオンズクラブの今期の山本哲美会長は、自ら先頭に立ち、平成24年7月26日第1228回例会にて、同日新会員7名の入会式を挙行政致しました。

これには、長谷川憲男地区ガバナーをはじめ、地区役員委員の方々も非常に喜んで頂き、入会式当日は、長谷川憲男地区ガバナーをはじめ濱田キャビネット幹事、森下キャビネット会計、小谷7R会員・会則・EXT・指導力育成・プロトコール委員の計4名もの方々に参加頂き、素晴らしい入会式を挙行することが出来ました。

過去高知黒潮LCでも同日7名の入会式の記録が無く、ここ数年6R・7Rでもこの様な記録は無い様です。

最近新会員のクオリティの問題を口にされる方が多い中、当クラブの元ZCのL藤本武志は、「ライオンズクラブはどのような方が入会されても、そのクラブの中で成長し、伝統を守り変化を乗り越えて成長していくのがそのクラブの力だ」とよく言われます。

私も本当にライオンズクラブに入会させていただいた頃の自分と今の自分では、数段考え方などが成長している様に思えます。

やはり多くの仲間と知恵と汗を出し合って、共に同じ目的の為に協力出来る輪が大きければ大きい程大きな力が発揮できると思います。

幸い、高知黒潮LCは、宮地健三元地区ガバナー（地区名誉顧問）、骨髄バンク推進協議会の依光聖一会長をはじめ素晴らしい先輩方を有するクラブですので、本当に良き仲間と一致団結して大輪の花を咲かせると共に本当に楽しみながら成長しつづける事が出来るクラブだと確信しております。

今期会長の目標とする純増10名の目標に向かってクラブ員全員で力を合わせて達成出来るように頑張りたいと思います。

こんな素晴らしい入会式を執り行なえた事に対して長谷川地区ガバナーをはじめ地区役員委員の皆様には大変感謝致します。

又、クラブ員の皆様には、益々のご協力宜しく願致します。

最後に成りますがこの入会式を契機に例会出席率が非常に高くなった事を、ここに報告させていただきます。





高知とさみずきライオンズクラブ 第222回チャーターナイト例会（200%例会）開催について

高知とさみずきLC 会長 北 泰子

長谷川憲男336-A地区ガバナーの会員増強の方針を受けて、8月21日に予定していたチャーターナイト例会を200%例会にすることを7月の第2例会で決定し、会員に協力を呼びかけました。会員間で連絡を取り合いながら、開催前日までに200%を超える人数に達しました。

例会の数日前に、長谷川憲男336-A地区ガバナーのご推薦により、336-B地区の地区ガバナーより、200%例会訪問の打診を受け、喜んでお越し頂きたいとお返事しました。

当日は、335-B地区から吉村弘吉地区GMT委員長、中西昌子地区女性会員増強委員長、北岡和明元会長、北岡奈代子ライオンレディの4名、長谷川地区ガバナーをはじめとする336-A地区役員5名、スポンサーである高知ライオンズクラブから4名、合わせて13名のビジターの皆様のご出席をいただきました。また、新入会員（1名）の入会式も行うことができ、当クラブにとりまして、本当に嬉しい例会となりました。

会員がお誘いしたゲストの皆様も、会員数を超え、最終的に当日の出席率230.77%（累計247.44%）

を達成しました。日頃親しくしている友人や知人の皆様を、例会にご招待することにより、ライオンズクラブの理念や活動をより知っていただき、入会をお勧めする良い機会になりました。長谷川地区ガバナー、吉村地区GMT委員長、中西地区女性会員増強委員長等、ビジターの皆様のご挨拶やお話も、ゲストの皆様がライオンズへの興味や関心に繋がったと確信しました。今後は、200%例会にご出席いただいたゲストの皆様が積極的に入会をお勧めし、会員増強に繋がっていきたくと思っています。

私も高知とさみずきライオンズクラブも、お陰様で今年10周年を迎えることになりました。2013年6月2日に結成10周年記念式典をホテル日航高知旭ロイヤルで開催する予定です。記念式典開催日までに、結成時のメンバー数26名（11名増）を目指して会員増強を図り、会員数200%の目標に挑みたいと思っています。この目標達成のため、是非皆様方のお力をお貸し下さい。ご支援、ご協力の程、よろしくお願いいたします。





「会員増強」と「東日本大震災に対する奉仕活動」
を組み合わせ200%例会を達成しました!!

高松中央LC PR・ライオンズ情報・I-T委員会委員長

梁瀬 利恵

9月9日(日)「チャリティー芸能フェスタ」を開催致しました。
昨年引き続き「震災復興に愛をこめて」をテーマとして、107組総勢300人以上の方々にご参加いただきました。

当クラブは香川県唯一女性会員だけのクラブとして11年目を迎え、「女性だからこそできる」を軸として女性らしい活動を心がけています。

その思いを市民の皆さんにご理解いただきたく、336-A地区4RC正木一志様をお迎えして今回の200%例会を達成しました。

例会では献血活動・乳がん撲滅(ピンクリボン)花植え奉仕活動などを紹介し、今後のご支援と共に1人でも多くの仲間と活動していきたい気持ちをお伝え致しました。

芸能フェスタでは3歳のお子様から紳士淑女の皆様までご参加いただき、日頃の成果を惜しみなく発揮されると共に、カラオケだけではなく弾き語り・ベリーダンス・キッズダンスなど、多種多様の発表を長時間にわたってたく

さんみなさん楽しんでいただけたようでした。
今回皆様のご好意で集まった義援金は大切に被災地へ届けたいと思います。



社交ダンス



ベリーダンス



キッズダンス



「花は咲く」を全員で歌いました



開会挨拶



高知鏡川ライオンズクラブ訪問

会員維持・増強は、長谷川地区ガバナーの基本方針の一つにされている。それだけ、各クラブも課題にしているものであり、地区誌では特集レポートをすることとなった。

さて、具体的にどのクラブに訪問するかは、昨年の会員増強に関してガバナーアワード金賞を受賞したクラブに当たってみることにした。そして、最初に話しを持っていた高知鏡川ライオンズクラブに決定した。

理由は、取材にあたっての課題としていた会員維持・増強に対する取り組みが、明確だからで、「どうすればライオンズクラブの存在価値が上がるのか」という問いに対してちゃんと答える基本姿勢と、「勢い」が感じられたからであった。

結成三十四年で会員四十四名のクラ



当日は、入会式



新入会員スピーチ

ブであるが、取材を申し込んだ久万田前会長に聞くと、一年前の会長就任時は三十六名でのスタートだったという。四十五名にするという年頭の目標に対して、「できない目標を立てても無意味ではないか」という声を聞き、この批判をエネルギーに変えて邁進したと語っていた。

一年間は、どこに行くにしても入会資料を持っていったという話しに、こういう人もいるのかと感心し、やわらかく啓蒙されているような思いにもなった。具体的なことを見聞きすることが取材なのだが、「勢い」と同時にライオンズを見直す真摯な気持ちに接したものである。

取材の日は、合同例会ということもあり、また、二名の入会式も重っていた。さらに、懇親会も実にユニークで、ゲームの中にも「勢い」がづづいていて様だった。

後に、昨年度の入会者に聞くと、「当初は飲み会が多く、在籍し続けられるだろうかと迷ったという。しかし、その後、アクティビティへの参加から、ライオンズに接しはじめ、やがて、在籍し続けていく気持ちを強くした」との話が聞けた。

こういう取材を通じて生の声を聞くことで、「会員維持・増強」の方法はクラブによってさまざまであろうが、なにか一つをやり続けている事で達成していくものだと思えた。成功クラブの例を参考にしていきたいものである。

地区誌編集委員 竹村



入会式風景 左端 久万田氏



ゲームは、終盤。足元の新聞紙以外は踏み込めない



久万田氏は、懇親会ゲームでも全身全霊



合同例会 懇親会



二名の入会式



大豊ライオンズクラブを訪問して

7Rに会員7名という大豊LCがあります。今回、三宅芳明7R-RC、吉田元雄7R-3ZC、白土圭志7R-PR・ライオンズ情報・大会参加委員、福留豊7R環境保全・保健福祉委員、徳橋茂久7RYE・国際関係委員と伴に、9月6日(木)大豊町総合ふれあいセンターで開かれた第725回例会に出席しました。

高知市を車で出発し、高速経由で約40分、少し早く着きましたのでふれあいセンターを少し見学させてもらいましたが、デイサービスや温水プールもある立派な施設でした。

例会は畳の部屋を襖で仕切って、午後7時少し前に会員5名(出席率70.4%)の出席のもと、開会宣言・開会ゴング、国旗に敬礼・国歌斉唱、ライオンズの歌斉唱、ライオンズの誓い、クラブ会長挨拶、地区役員・委員の紹介、三宅7R-RCの挨拶と進みました。幹事タイム(報告事項)・会長タイムと進行、約15分閉会ゴングで例会は終了し、弁当とお茶の食事タイムとなりましたが、その折、大豊LCの活性化に少しでも役に立とうと熱心に話し合いをしました。

会員増強の面では、大豊町は人口

2800名の典型的過疎地であり、1名の増強もままならないという事ですが、現在2名の方に声をかけているということ、つまり1名でも増えれば14.3%の増強になるということ、頑張っで頂きたいという我々からのエールを送らせて頂きました。また、事業面では大豊町の一角にライオンズの森を造り、植樹を中心に維持、管理をしており、大豊LCの中心アクトとなっておりますが、会員が少なく維持ができないという事で、話し合いの中で森の中にモトクロス場の整備も考えてみてはという意見も出しました。

お茶を飲みながら、活発な意見を約1時間交わして例会訪問を終えました。

高知キャビネット地区誌編集委員長

宇都宮 博史





202回のMJF!

全世界で
5人目

高知南ライオンズクラブ 溝淵 義雄

第91回ライオンズクラブ国際大会がタイ国のバンコクで開催され公式レセプションにご招待を受け、LCIFを102回した時、前国際会長よりメジャーギフトとして特別なピンを頂きました。世界各国から集った会場で高知南ライオンズクラブ名が大きなスクリーンに映し出されとても嬉しかったです。

あれから約5年が経ちましたが、今でも世界では特に発展途上国では、多くの子供達が失明や小児白内障等の視覚障害で苦しんでいます。予防や治療によって80%が予防でき回復も可能です。ライオンズクラブは奉仕の団体です。各国のライオンズクラブに加わって直接ボランティア活動をする事は私には出来ず、今の現状でボランティア活動を行う為には、ライオンズクラブ国際財団を通じてなら微力な私でも世界に向けて支援活動をする事ができると想いました。

地区ガバナー公式訪問に同行し、式典の最後に貴重な時間をLCIFについて長谷川地区ガバナーから特別に紹介して頂きました。懇親会の時に、多くの出席者から、LCIFを「始めたきっかけは?」「何故するのか」を尋ねられました。またテーブルの席に呼ばれて、「話を聞きたい!」等々と予期しなかった出来事だけにその反響の大きさに私は驚きました。

機会をつくって下さった長谷川地区ガバナーに感謝します。改めて心の広さに感銘しました。



福岡アジアフォーラムにて、長谷川地区ガバナーご夫妻と。
200回以上のMJFで表彰されました。



国際協会から感謝状とメダルを受表彰されました

336-A地区会員現況

(入退会は累計・2012年10月末現在)

R	Z	クラブ名	期首	10月末	増減
1	1	松山ホスト	38	38	0
		久万	25	25	0
		松山東	48	50	2
		砥部	39	39	0
		松山つばき	46	45	-1
		松山城山	38	40	2
	Z合計	234	237	3	
	2	松山道後	57	57	0
		伊予	49	50	1
		松山西	40	43	3
		松前	18	19	1
松山北		20	25	5	
松山湯築		35	36	1	
Z合計	240	251	11		
3	北条	20	21	1	
	松山中央	103	106	3	
	松山南	30	34	4	
	東温	27	29	2	
	松山金亀	45	44	-1	
	松山白鷺	63	64	1	
Z合計	288	298	10		
R合計	762	786	24		
2	1	新居浜	54	53	-1
		新居浜中央	38	40	2
		新居浜別子	32	34	2
		新居浜ひうち	29	27	-2
		Z合計	153	154	1
	2	今治	59	59	0
		今治中央	58	56	-2
		今治東	52	55	3
		今治くるしま	58	60	2
		今治サーチング	19	19	0
	Z合計	246	249	3	
3	伊予三島	39	41	2	
	川之江	46	44	-2	
	伊予土居	37	37	0	
	四国中央法皇	38	38	0	
Z合計	188	189	1		
4	西条	53	53	0	
	東予	40	41	1	
	伊予小松	13	13	0	
Z合計	150	150	0		
R合計	737	742	5		
3	1	大洲	46	47	1
		宇和	34	34	0
		伊予長浜	15	15	0
		内子	29	30	1
		野村	24	22	-2
	Z合計	148	148	0	
	2	八幡浜	46	45	-1
		三瓶	15	14	-1
		伊方	36	36	0
		保内	26	26	0
		八幡浜みなと	45	44	-1
Z合計	168	165	-3		
3	宇和島	26	26	0	
	伊予吉田	31	31	0	
	宇和島中央	17	17	0	
	南宇和	40	39	-1	
	鬼北	27	27	0	
Z合計	141	140	-1		
R合計	457	453	-4		

R	Z	クラブ名	期首	10月末	増減
4	1	高松	40	41	1
		小豆島	40	40	0
		小豆島東	32	32	0
		高松葵	29	29	0
		高松南	25	25	0
		Z合計	166	167	1
	2	高松東	59	58	-1
		高松西	34	34	0
		直島	27	27	0
		八栗	27	28	1
		高松源平	33	33	0
高松中央		38	35	-3	
Z合計	218	215	-3		
3	東かがわ	41	41	0	
	長尾	58	60	2	
	志度	63	64	1	
	三木さぬき	28	30	2	
	高松グリーン	27	27	0	
Z合計	217	222	5		
4	高松玉藻	46	45	-1	
	高松栗林	62	61	-1	
	高松屋島	42	46	4	
	高松紫雲	50	52	2	
	高松空港	28	28	0	
Z合計	254	256	2		
R合計	855	860	5		
5	1	丸亀	82	81	-1
		坂出	46	47	1
		坂出白峰	61	61	0
		綾歌郡	18	19	1
		丸亀京極	60	60	0
	2	うたづ	40	42	2
		坂出シニア	33	32	-1
		Z合計	340	342	2
		観音寺	31	33	2
		善通寺	37	38	1
	3	多度津	39	40	1
三豊		54	57	3	
こんぴら		41	40	-1	
観音寺中央		25	23	-2	
Z合計		227	231	4	
R合計	567	573	6		
6	1	高知	46	45	-1
		高知柏	55	54	-1
		高知東	41	42	1
		高知北	37	36	-1
		高知桜	36	37	1
	2	高知とさみずき	14	14	0
		Z合計	229	228	-1
		須崎	46	45	-1
		土佐	50	51	1
		伊野	29	26	-3
	3	佐川越知	23	24	1
中土佐		24	23	-1	
Z合計		172	169	-3	
四万十		44	44	0	
土佐清水		45	47	2	
4	宿毛	19	20	1	
	窪川	26	24	-2	
	大方	24	22	-2	
	大正	19	18	-1	
	Z合計	177	175	-2	
R合計	578	572	-6		

R	Z	クラブ名	期首	10月末	増減
7	1	高知鷹城	47	48	1
		室戸	29	29	0
		高知鏡川	41	43	2
		高知南	33	33	0
		高知よさこい	44	40	-4
		土佐国府	24	24	0
	Z合計	218	217	-1	
	2	高知黒潮	56	61	5
		高知桂	57	54	-3
		高知中央	39	38	-1
		高知安芸	29	30	1
高知りょうま		32	31	-1	
Z合計	213	214	1		
3	土佐山田	15	15	0	
	土佐本山	20	19	-1	
	南国	37	33	-4	
	土佐香南	35	35	0	
	大豊	8	7	-1	
Z合計	115	109	-6		
R合計	546	540	-6		
8	1	徳島	26	25	-1
		小松島	20	21	1
		阿南	44	45	1
		徳島南	31	33	2
		阿波勝浦	26	26	0
	2	徳島マリンピア	46	48	2
		徳島すだち	31	31	0
		徳島シニア	19	17	-2
		Z合計	243	240	-3
		徳島中央	26	28	2
	3	石井	31	31	0
徳島城山		38	40	2	
上板		41	39	-2	
徳島吉野川		37	36	-1	
土成		28	29	1	
Z合計	229	230	1		
R合計	472	476	4		
9	1	徳島眉山	29	29	0
		鳴門	57	57	0
		藍住	38	38	0
		板野	36	36	0
		松茂徳島空港	19	23	4
	2	鳴門西	25	25	0
		北島	49	49	0
		Z合計	253	257	4
		阿波池田	39	38	-1
		脇	37	39	2
	3	三加茂	19	17	-2
Z合計		95	94	-1	
徳島西		15	16	1	
鴨島		35	35	0	
阿波		31	30	-1	
4	徳島国府	17	18	1	
	神山	20	20	0	
	徳島藍	31	31	0	
	Z合計	149	150	1	
	R合計	497	501	4	
地区合計	5,471	5,503	32		



物故会員

慎んでお悔やみ申し上げます

①氏名・享年 ②L.C名 ③入会年月日 ④没年月日

(2012年4月24日～10月30日)



11月24日現在で
お写真が確認できた方は
お写真を掲載しています。



①井上 信夫(76歳)
②3R-2Z三瓶
③1978年3月1日
④2012年7月1日



①片山 武弘(82歳)
②3R-2Z八幡浜
③1965年10月7日
④2012年5月27日



①詫間 孝洞(80歳)
②5R-2Z三豊
③1973年4月1日
④2012年5月15日

①稲田 勉(73歳)
②3R-3Z南宇和
③2008年11月20日
④2012年5月14日

①安達 勝(75歳)
②3R-3Z宇和島
③1972年11月
④2012年4月24日



①高橋 胤臣(84歳)
②7R-2Z高知桂
③1965年4月23日
④2012年8月29日



①増田 英夫(79歳)
②2R-1Z新居浜
③1972年3月
④2012年8月12日



①明神 勲生(70歳)
②6R-2Z伊野
③1978年4月
④2012年8月11日



①湊 博保(94歳)
②4R-4Z高松玉藻
③1960年10月30日
④2012年7月22日



①金光 京一(70歳)
②4R-2Z直島
③1978年10月22日
④2012年7月21日



①丸田 勝久(79歳)
②8R-1Z徳島
③1960年10月1日
④2012年9月30日



①福本 孝(81歳)
②1R-2Z伊予
③1967年6月6日
④2012年9月30日



①坂本 脩(80歳)
②5R-1Z丸亀
③1976年10月21日
④2012年9月19日



①竹内 光彦(69歳)
②2R-3Z川之江
③1981年11月
④2012年9月18日



①木下 幸光(90歳)
②4R-1Z小豆島東
③1966年9月7日
④2012年6月6日



①神村 實(93歳)
②2R-2Z今治中央
③1988年10月24日
④2012年10月29日



①佐々木由佳里(47歳)
②6R-1Z高知とさみずき
③2011年6月7日
④2012年10月23日



①岡内 秀一(88歳)
②7R-2Z高知黒潮
③1961年5月24日
④2012年10月21日



①河内 之春(93歳)
②9R-2Z阿波池田
③1966年10月15日
④2012年10月12日



①成岡 進(76歳)
②6R-2Z伊野
③2003年10月
④2012年10月2日



1R 公式訪問 記念撮影前のガバナー笑顔

(地区誌編集委員 竹村)

地区ガバナーの公式訪問は、地区運営の基本方針の説明をする事が第一の目的であった。しかも、直接ガバナーから伝える形をとるところに特別の意味があるようだ。

この公式訪問が終わった後に、改めて写真を整理してみると、真剣な表情が多い中に、笑顔の写真もあることに気づいた。そこで、本号では、一枚だけ選り抜きの笑顔写真を載せることとなった。

撮影は、地区誌委員であるが、なんと、三名が新たに購入したカメラが偶然同じ機種で、しかもバックまで同じだった。そのカメラ片手に、次号特集「事業資金の確保・成功例」の取材に出かけよう。また、いい笑顔に出会えそうな気がしている。



[第59回] 336-A地区年次大会のご案内

夢とロマン・出会いの達人 龍馬の心で We Serve

と き ● 2013年4月13日(土)・14日(日)

ところ ● 高知県民文化ホール
三翠園 (高知市)



第58回地区年次大会で次期・高知キャビネット33ホストクラブがPR



ガバナーズローガン

「心ひとつ」相手の立場で We Serve

キーワード

誠心誠意



2012～2013年
ライオンズクラブ国際協会
336-A地区 高知キャビネット事務局

We Serve

〒780-0822 高知県高知市はりまや町1丁目5-28
はりまや橋ビル2F 201号
TEL 088-821-9668 FAX 088-821-9667
E-mail : kochicab@aurora.ocn.ne.jp
URL : <http://www.lc336a.gr.jp/>